

【こんな旅行プランはいかがでしょう？】

先月お休みをいただき、家族で山口県に行ってきました。

目的は息子が去年から言い始めた“錦帯橋を見たい”という夢を叶えるために・・・。

我が家には小学1年生の息子が一人います。夫が出張で地方に行くことが多く、「今日はどこに行くの?」「〇〇県に行ってくるよ」のやり取りから始まり、朝のニュース番組での地方特集から都道府県を覚えるブームがやってきました。

「〇〇県ってどこ?」の質問が多くなってきたので、「これは!」と思い、お風呂の壁に100円均一で購入した都道府県の地図を貼り、毎日クイズを出しては覚えていきました。

本棚には都道府県を覚える絵本や子ども向けの旅行雑誌、都道府県にちなんだ物語の本を置いたところ、今では形を見るだけで何県か分かるまでになりました。



昨年度は中でも、名古屋のウナギが食べたい!の夢を叶えるべく、名古屋旅行に。

そして今回は息子の夢を叶える旅第二弾!として山口県の錦帯橋を見に行くことにしました。

そもそも息子がなぜ錦帯橋を見たい!と思ったのか・・・

そのきっかけは家にある子ども用の旅行雑誌でした。

山口県のページ(1ページ)に載っていた小さな錦帯橋の写真を見て、「他の橋と違う」「綺麗だから見てみたい」と感じたそうです。

約1年間ずっと見たいと言っていた橋を実際に見た息子はどんな表情を見せるのか、親の方がワクワクしていましたが、実際は息子よりも私の方が感動でした。

橋の造りはもちろん、その周りの澄んだ川や山々の緑の景色は想像以上でした。

当の本人は錦帯橋に流れる錦川での水遊びに魅力を感じ、橋のことはそっちのけ。

川の中にはいろんな色や模様の石があり、石探しを楽しんだり、足元に泳ぐ魚を追いかけたり、鵜がすぐ近くを泳ぐ場面にも遭遇し、自然を思う存分楽しんでいました。

1日目が終わる頃には「明日も錦帯橋に行きたい(川遊びがしたい)」とのことで2日間錦帯橋に行く流れになったのでした。

もちろん橋を実際に渡る中での発見もあり、「この橋、木でできているよ」「橋の途中に階段があるよ」「この橋って1673年に造られたんだよ」等いろんな気づきも教えてくれました。

息子の「錦帯橋みたい」の発言がなければ、今回のような感動に出会うこともなかったです。

子どもの見たい景色を実際に見てみる!そんな旅行プランも面白いかもしれませんね。(宝田)